

菅代表のスタッフ募集

今年、選挙区割りの変更になり、府中市は武蔵野市・小金井市とともに東京都第18選挙区に属することになりました。第18区は、民主党の菅直人代表の選挙区です。

天下分け目の戦いに向けて、菅事務所ではボランティアスタッフを募集しています。ライバルの鳩山(弟)陣営では、アルバイト100人でポスターを貼り、街宣カーも数台投入するなど、物量ではかないません。少し空いた時間でも結構ですので、首相候補をお手伝いいただける方は、ぜひご協力をお願いいたします。



府中一新、日本一新。

府中の元気

フリーダムネット

No.3 2003.10

「ゴミ処理場見学会」をしませんか

府中市のゴミは、40年が経過する二枚橋衛生組合と最新設備が整う多摩川衛生組合の2箇所処理されています。

2つの施設とリサイクルセンターを見学し、府中市のゴミ処理とリサイクルについて一緒に考えてみませんか。企画があれば参加したいという方はぜひお知らせください。

ご意見ご声援をぜひお寄せ下さい！

TEL 042-335-0097 / FAX 042-361-9856
Email sugimura@sea.sannet.ne.jp
URL <http://www.fuchu21.gn.to/>

府中市議会議員・民主党

杉村康之 / プロフィール

昭和44(1969)年2月19日生(34才)
府中市日鋼町に育ち、現在栄町在住。
府中一小、府中四中、国立高校、青学大卒。
その後日本新党の活動に参加、
衆議院議員 山田ひろし(現杉並区長)
の公設秘書を経て、
平成11年府中市議選に無所属で初挑戦。
平成15年府中市議選に自由党で初当選。
現在、民主自由の合併に伴い民主党に所属。



民主・自由の合併 初めての一般質問 9月議会の論点

<暮らしはこう変わる> ... 9月議会で決まったこと

ひとり親家庭の医療費を助成する制度には所得制限がありますが、その所得に今後は(もう一方の親からの)養育費も計算されます。

このところ、府中市でも犯罪の発生率が高くなっています。市、市民、事業者が連携して安心できる地域社会の実現するため、「府中市市民生活の安全確保に関する条例」が成立しました。

府中駅南口再開発地区に建設中のビルの3Fに子育て支援中核施設が開設予定です。そのための土地や建物の買入れが承認されました。

民主党のマニフェストをご希望の方はご連絡ください。

民主・自由合併 政権交代！

本物の改革を！

小沢一郎

今回合併によって、ようやく自民党と真っ向から対決して勝負して私たちが自ら政権を担いうる体制を確立することができました。

小泉内閣のめちゃくちゃな見せかけの政治の結果、経済・社会の崩壊が急速に進んでいます。まさに破滅のカウントダウンが始まっていると言っても過言ではありません。それを直前で食いとめ、日本を立て直す方法はただ一つ、自民党政権を倒し、直ちに私たちの手で本物の本当の改革を断行する以外にない。無条件で合併を決断したのはただただその一念からであります。

ちょうど自由党の同志たちが政策活動の集大成として新しい日本の設計図をまとめ、日本一新 11 基本法案をすべて国会に提出し終えました。あとは何とでも私たち自身がみんなと力を合わせて政権を担ってそれを実行するしかない。

本物の力を菅代表の下に結集し心を一にして戦えば、私たち民主党は必ず今度の総選挙で自民党公明党連合軍に勝ち新しい政権をつくることができます。そこで本物の改革の政治を行い日本一新に着手することができますのであります。

この総選挙の争点は実に簡単明瞭。「自民党政治の継続か、脱自民か」「官僚支配の継続か、脱官僚か」「政官業癒着の継続か、脱癒着か」「小泉流見せかけの改革による生活破壊か、それとも本物の改革による生活再生か」後者がよいと思う国民は、ぜひ民主党に政権を託していただきたい。

「10/5 合併党大会挨拶」より

小沢党首の決断に従う

民主党・自由党の合併にともない、私は何の迷いもなく小沢党首の決断に従い、民主党に入りました。合併には大賛成です。しかし、自由党の仲間の中には、「日本一新」の旗をおろすことには納得できない、残念だ、などと必ずしも賛成の意見ばかりではありませんでした。なぜ、小沢党首の決断の意義が理解できないのか私には不思議でした。

それぞれの地域にはもちろん事情があります。私の場合でも、一人会派は今でもベストの選択だと思っていますが、民主党となれば新しい仲間と合流せざるを得ません。しかしそれこそ小異。左記の小沢さんの言葉が示している大義の前にはどうでもいいことです。

「日本一新」の旗が降ろされるわけでもありません。「日本一新」を実現するためには、この合併が不可欠でした。むしろ、この合併によって「日本一新」実現の可能性が広がったと、私は思います。

府中では菅、杉並では鈴木、を応援

10月5日の合併党大会では、菅代表の並々ならぬ決意が感じられました。「つよい日本をつくる」新生民主党のこの言葉にもあらわれています。困難を乗り越えて、小沢さんを受け入れた菅代表の決断にも敬意を表します。これまでの自由党の支援者の中には、菅さんが気に入らないという方もおられることでしょう。確かに、個々の政策を考えると違う部分もあります。しかし、政治に対するよいセンス、政治に対する誠意つまり信念、をもつ数少ない政治家の一人だと思います。選挙区割りの変更によって、府中市は菅代表の選挙区になりました。ライバルである鳩山（弟）には、信念のかけらも、センスのセの字もありません。

また、私の選挙で多大なご支援をいただいた鈴木盛夫さんが、この度の合併の影響で、杉並区に選挙区替えとなりました。杉並区は、かつて山田ひろし議員（現杉並区長）の秘書として私自身過ごしたところですが、ここで鈴木盛夫さんを応援し、再び石原伸晃大臣と戦うこととなります。

自民党と真っ向から対決する、舞台は整いました。日本新党から10年、同じ失敗を繰り返すことはできません。自民党を下野させれば、政権交代可能な健全な二大政党政治が実現し、日本が大きく変わります。杉並と府中を行き交う毎日ですが、何としても新生民主党を勝利に導き、政権交代を実現させるため、自分にできることはすべてやる決意です。

一般質問議事録(抜粋)

NPO法人～寄付金を集めやすくする仕組みはできないか。

杉村 - 府中市独自に、NPO法人への市民からの寄附金に対する税制の優遇措置をつくることはできないか？

生活文化部長 - NPO法人の活動資金の調達手段として、寄付金は重要な役割を持つものと理解しているが、府中市独自の措置は地方税法上できない。また、単独の地方公共団体の枠に限定されない、広域的なシステムが望ましいと考えている。

杉村 - 地域密着型のNPOについて地方のそれぞれの自治体でバックアップしていくという視点がやはり必要ではないか。(税の控除は)法的に難しいが、杉並区等の例では、基金制度により、寄付金を集めやすくする仕組みを工夫している。ぜひ、前向きに研究していただきたい。

生活文化部長 - 国や都の動向を踏まえ、他の自治体の状況を勘案した中で研究してまいりたい。

道徳教育～「自由には責任を伴う」ということをどうやって教えているか。

杉村 - 自由には責任を、権利には倫理を伴わなければならないということがしっかり教育されているか。

新海教育長 - 自由には責任を、権利には倫理を伴わなければならないということについては同感である。例えば、子供たちが豊かな倫理感覚、それから、道徳観念に裏打ちされた学力を身につけさせるように、学校に対しても再三お願いをしている。

ジェンダーフリー教育～男女の区別は差別か。

杉村 - 男女平等とジェンダーフリーは同義か。

生活文化部長 - 異なった概念である。

杉村 - 男女の違いを認めた上で、お互いを尊重し、協力し合うこと、を教えるのが真の男女平等教育であると思うが、いかがか。

学校教育部長 - 男女平等教育は、一人一人の性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮する社会をつくるための教育である。また同時に、男女は性による違いがあり、その違いを理解した上でお互いに尊敬し合うということも指導している。

杉村 - ジェンダーフリーについて、市長はどのような認識をお持ちか。

野口市長 - 府中市でも、かつて男女差別がないというような意味で、この言葉が使用されたことがある。今日、その言葉が「特別な意味」を持つと言われていることは認識をしている。画一的に男性と女性の違いを一切排除しようということではなくて、男女が対等なパートナーとして、性別にかかわらず、また、性別によって差別を受けることなく、さまざまな分野に参画をして、その個性と能力を十分に発揮し、利益も責任も分かち合っていけるような社会を目指していくという考え方を基本に、男女共同推進社会の実現に努めてまいりたい。

はじめての一般質問

9月3日、市議会本会議場におけるはじめての一般質問を行いました。大きく3つのテーマについて質問をしましたが、途中で時間が足りなくなり、3つは欲張りだったと反省しています。そのため意を尽くせない部分もありましたが、一定の成果は得られたと思います。

NPO法人への支援を研究

市民の力を存分に生かすため、また行政のスリム化のため、NPOの支援は重要な課題です。府中市でも、ソフトパワー重視のまちづくりを掲げ、力を入れています。「寄付金を集めやすくするしくみ」について意義は認めるが、多少とも税源が減ることになるので財政状況が苦しい今はやりたくないというのが本音でしょう。また、市で管理できないところに税の一部がまわることも受け入れがたいようです。今後の「研究」の中でさらに詰めていきたいと思っています。

自由には責任を伴う

少年犯罪、援助交際、学級崩壊など、子供たちをめぐるさまざまな問題の背後には、責任なき自由、倫理なき権利の反乱があると思います。府中市では、答弁を聞く限り良識的な教育がされているようですので、ひとまず安心しました。今後は市内33校に直接足を運び、さまざまな視点から学校の実態を自分の目で確かめるつもりです。

男女平等とは異なる「ジェンダーフリー」

「ジェンダー」とは、社会的、文化的に形成された性のことだそうです。「ジェンダー」を解消する、つまり後天的につくられた(といわれる)性別なくすというのが「ジェンダーフリー」です。男女平等には2つの考え方があります。男女の特性を前提にしない「ジェンダーフリー」と、男女の特性を認めた上でお互いを尊重する考え方です。私は、真の男女平等とは後者であると確信します。性差の解消は、男女差別をなくすことと本質的に異なり、社会の成り立ちに悪影響を与えられそうです。

市長の答弁にあるように、かつては、多くの自治体でジェンダーフリー＝男女平等として素朴に受け入れられてきましたが、このところ、ジェンダーフリーには思想的な背景があるということが認識されつつあります。今、各地で男女共同参画条例がつけられています。今、「男女の違いを認めた上で」という文言を入れるか入れないかが一つの焦点です。今後の府中市の対応を見守ってまいります。

9月議会の論点

まちづくり条例

府中市の懸案事項の一つが大型マンション問題です。現在も東芝町、住吉町、是政で、建築中で周辺住民とのトラブルがあります。一概に住民側が正しいというわけではありませんが、事業者側が法律さえクリアすればよいと考えれば、それは社会通念上許されないでしょう。周辺住民の環境を守るためにはどうしたらよいか、それが大きな課題でした。

いわゆるマンション紛争の防止が今回の条例の一つのねらいで、一定の開発行為に対して様々な手続きを定めています。しかし、条例は法律の範囲内でしか制定できないので、この条例には強制力がありません。ただ、開発業者が市長の勧告に従わなかった場合、その「対応の内容を公表する」というある種のペナルティが盛り込まれました。

現状ではかなりの努力が見られる条例ですが、今後の運用を注視してまいります。また、根本的な解決として、用途地域の見直しも検討していかなければならないと考えます。

H14 年度決算特別委員会の主な論点

財政 タバコ税収入は増えたが、市民税収入は減った。依然厳しい状況にあるが、府中市には様々な基金があるので、余裕はある。共産党は、基金を取り崩して使えという。しかし、はじめから基金をあてにするのは健全ではないだろう。

府中の独自性 新規事業は23事業、そのうち他市に先駆けて行われたものが8事業、うち3事業が市長独自の判断による。3事業は、NPOディレクター制度、村野四郎記念館開設、図書館検討委員会の設置。

美術館 小中学校の無料鑑賞教室を実施。課題は、美術館を管理する学芸員と一般市民の意識の乖離があること。今年50点の寄贈を受けた。これからもよい作品を集めたい。世田谷美術館が成功しているが、既に建設費の数倍にあたる寄贈品がある。

事務事業評価制度 制度導入から3年が経過した。今後、施策評価を念頭において制度を検討したい。施策評価は、個別事業をいくつかにまとめてその範囲ごとに評価する。

放置自転車 撤去数5785台。リサイクルセンターで再生された数640台。

ゴミ有料化 一般ゴミは減っている、赤・緑のボックスとは両立できない、等の理由でゴミ有料化は考えていないとのこと。

平成 15 年 第 3 回府中市議会定例会 主な議案と議決結果

議案	付託委員会	本会議の議決	市政12	公明5	市フ7	自由1	生ネ2	共産3
道路線の認定について	建設環境	可決						
道路線の認定及び廃止について	建設環境	可決						
道路線の廃止について	建設環境	可決						
府中市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例	総務	可決						
府中市ひとり親家庭医療費助成条例の一部を改正する条例	厚生	可決						×
府中市市民生活の安全確保に関する条例	建設環境	可決					×	×
府中市地域まちづくり条例	建設環境	可決						
府中市建築審査会条例の一部を改正する条例	建設環境	可決						
土地及び建物の買入れについて	厚生	可決					×	×
平成 15 年度府中市一般会計補正予算（第 1 号）	予算特別	可決						
平成 14 年度府中市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定					×	×
住吉町・長谷工マンション建設の影響から住吉小学校の良好な教育環境を守ることを求める陳情	文教経済	採択						
長谷工マンション（仮称）「ルネ府中住吉町」建設計画にかかわる陳情	建設環境	継続						
朝鮮学校の保護者に対し補助金の増額を実施するよう求める陳情	総務	不採択	×	×	×	×		
在日外国人の国民年金の無年金の高齢者及び障害者に対する救済措置についての陳情	文教経済	不採択	×	×	×	×		
車返住宅管理組合の駐車場建設計画に関する陳情	建設環境	不採択	×	×				
（株）長谷工コーポレーション施工「仮称ルネ府中住吉町」建設に伴う住吉小学校児童の健康と学習環境を守るための陳情	文教経済	採択		×				
環境問題に係る粒子状物質減少装置装着助成に関する陳情	文教経済	不採択	×	×	×	×		
府中市浅間町 4-13 番地（株）協立電子工業跡地住宅地開発に関する陳情	建設環境	採択	×					
（仮称）府中市是政 4 丁目マンション新築工事計画に関する陳情	建設環境	継続						
長谷工コーポレーションによる住吉町マンション（仮称）に関わる陳情	建設環境	継続						

この他 8 つの特別会計についての決算などが議案となりました。